

# 令和 8 年第1回定例会代表質問会議録（中島章二）

## 「地域医療の充実への取組について」

2026年3月5日(木)13:20~14:30

### ○8番（中島章二） [登壇]

通告に基づき市民クラブを代表して代表質問を行います。

次に地域医療の充実への取組について伺います。

市政執行の方針にある市民にとって安全で質の高い医療を受けることができる体制を維持していくために西部医療圏唯一の地域中核病院である済生会日田病院が将来にわたって医療を提供していくために必要な支援についてどのように考えているのか、伺います。

### ○議長（三苫 誠） 福祉保健部長。

### ○福祉保健部長（河野健資） [登壇]

私からは令和8年度市政執行の方針と予算案のうち重層的支援体制の構築への取組及び地域医療充実への取組の2点についてお答えをいたします。

次に、2点目、地域医療の充実への取組についてお答えします。

済生会日田病院につきましては、西部医療圏唯一の地域中核病院として二次救急医療、災害拠点医療など多岐にわたる機能を担っていただいております。本市といたしましてはこれらの機能はいずれも西部医療圏の地域医療を確保する上で必要不可欠なものであると認識しており、これまでも二次救急医療や小児救急の確保を目的とした補助を行ってきたところでございます。一方で、済生会日田病院がこうした他の医療機関では担うことが困難な機能を一手に担っていることが結果として現在の厳しい経営状況につながっているものと考えており、実際に、平成28年度以降、新型コロナウイルス感染症対策の補助を受けていた期間を除き赤字経営が続いている状況であることを確認しております。

こうした状況を踏まえ、済生会日田病院におきましては、昨年3月、経営改善会議を設置し、西部医療圏の公的医療機関として果たすべき機能を精査しつつ持続可能な経営体制を検討するため医療経営に専門的な知見を有するコンサルタント事業者を活用し診療報酬の算定強化や業務効率化など収支改善に向けた短期的な取組や病床機能や病床数の最適化といった地域医療を取り巻く状況を踏まえた中長期的な取組の整理を行っており、本年3月末に経営改善に向けた最終的な方針を取りまとめる予定と承知しております。

本市といたしましても済生会日田病院の現状の経営分析と今後の改善方策の検討

に当たりましては専門的知見の活用が必要であると考えており、本年度予算において経営コンサルタント費用の一部を西部医療圏の構成市町である玖珠町、九重町と共に補助しているところでございます。

また、こうした経営改善会議での議論の状況については県や医師会、済生会日田病院、本市を含む西部医療圏の構成市町が参画する四者協議の場におきまして共有を図りながら併せて済生会日田病院が西部医療圏で果たすべき必要な機能などについても議論を行っております。その中では、西部医療圏における地域中核病院として様々な機能を担っている中、とりわけ二次救急医療などは引き続き確保すべきであるといった意見も示されており、こうした議論も参考にしながら経営改善に向けた最終的な方針が整理されるものと認識しております。その内容を踏まえ、本市といたしましては、これまでの経営改善会議の議論を通じて、済生会日田病院の経営状況が極めて厳しいものであるということは十分承知しております。

今後、3月下旬頃に出される経営改善に向けた最終的な方針を取りまとめる中で改善後の収支見込みも示されることとなっており、また令和8年度には診療報酬の改定も予定されていることから、その改定が経営改善に与える影響も加味しながら市として速やかに具体的な財政支援策の検討に着手し、来年度の可能な限り早い段階で具体的な支援について西部医療圏の構成市町及び西部医療圏の医療確保に責任を持つ県とも協議を進めながら判断してまいりたいと考えているところでございます。

私からは以上でございます。

○議長（三苦 誠） 8番 中島議員。

○8番（中島章二） それでは、再質問に移らせていただきます。

続きまして地域医療の再質問のほうに移らせていただきます。

地域医療の充実についてですが、近年の物価やエネルギー価格の高騰、人件費の増加により医療コストは急激に増大し、患者数の減少と相まって経営を圧迫しています。とりわけ不採算部門を担い地域医療のとりでである公的病院の安定的な医療提供のために必要と考える取組が必要であると市政執行方針にあります。この取組について、県や国、医師会等々、どのような協議調整をしているのか、お伺いします。

○議長（三苦 誠） 福祉保健部長。

○福祉保健部長（河野健資） お答えを申し上げます。

先ほど答弁でも申し上げましたが、済生会日田病院が設置をしております経営改善会議には病院運営の有識者や市医師会に加え大分県から西部保健所長、西部医療圏の構成市町を代表して日田市長が参加し、病院運営の健全化にとどまらず公的医

療機関として果たすべき機能についても議論を行っております。

また、大分県医師会、済生会日田病院、そして本市を含む玖珠町、九重町の西部医療圏の構成市町が参加している四者会議は令和6年度からこれまで計5回開催されておりましてこうした経営改善会議の議論の内容についても共有を図っているところでございます。

この四者会議の場において、昨年6月、8月に開催されたものでは西部医療圏における地域医療の課題についても議論を行い、現状、多くの救急患者を受け入れていることを踏まえると今後も二次救急医療体制は維持していくべきといった意見や救急医療体制を含め小児科と婦人科についても現在の体制を維持してもらいたいなどといった御意見も示されているところでございます。

こうした四者協議で議論した内容については今後3月下旬にまとまる済生会日田病院の経営改善策においても西部地域の意見として参考にしながら取りまとめられるものと承知しております。今後とも関係者ともしっかり共有、協議を進めながら対応してまいりたいというふうに思っております。

○議長（三苦 誠） 8番 中島議員。

○8番（中島章二） 地域医療の維持ということで考えると、以前も、私、済生会さんのほう、しっかりと継続していただきたいということで申し上げてきたところでございますが、西部医療圏域を考えると非常に周辺部も含めて厳しい状況があるのではないかと考えているところでございます。

そういった部分で、救急医療体制を維持、継続していくために、今回頂いていますが、日田市過疎地域持続的発展計画に医療確保についてドクターヘリの運航を確保しながら第3次救急医療機関と連携強化を図るとありますけど、具体的にはどのような取組を行っているのか、お伺いいたします。

○議長（三苦 誠） 福祉保健部長。

○福祉保健部長（河野健資） お答え申し上げます。

ドクターヘリについては、令和6年第1回市議会定例会の教育福祉委員会の委員長報告においても御付言を頂いておりまして県内において福岡県のドクターヘリを活用している中津市、日田市、玖珠町、九重町については負担金を納める必要があります。医療体制の平準化や公平性の観点から県に対して自治体負担の在り方について協議するよう要望しますというふうにされているところでございます。

これを受けまして本市におきましては3次救急医療体制の充実並びに県民に対する県負担の格差是正のため県民のドクターヘリ利用については福岡県のドクターヘリを利用する場合であっても福岡県から財源措置がなされている大分県において費用負担をするように大分県市長会を通じて令和6年の秋季及び令和7年の春季にお

きまして県に対して要望を行っているところでございます。その後も、随時、県とは協議を行っているところでございますが、県が運航費用を全て負担することに合意するまで今後とも引き続き協議を行ってまいりたいと考えております。

○議長（三苫 誠） 8番 中島議員。

○8番（中島章二） 現時点で県のほうからは方向性というものはまだ出てきていない、または市との協議で方向性が見えていないという状況なのか、確認させてください。

○議長（三苫 誠） 福祉保健部長。

○福祉保健部長（河野健資） お答え申し上げます。

現時点ではまだ明確な方向性というものは見えていない状況でございます。

○議長（三苫 誠） 8番 中島議員。

○8番（中島章二） これについては早急に対応方をお願いできればと思っているところでございますので、今後も県また国のほうとも協議を進めていく経過になるかと思っておりますけど、どうぞよろしくお願ひしたいと思ひます。